

2020年度 第1回細胞検査士会役員会議事録

日時：2020年6月27日(土) 13:00～15:00 Web会議

出席者：

【会長】伊藤仁

【副会長】小松京子，阿部仁

【幹事】平田哲士，仲村武，棚田諭，原田仁稔，三宅真司，遠藤浩之
澁木康雄，加戸伸明，横山俊朗，山城篤，古田則行，阿部英二
田路英作，安達博成，片山博徳，河原明彦，河村憲一，木下勇一
小林幸弘，羽原利幸，藤井和晃，藤岡学，南部雅美，有田茂実
今枝義博，柿沼廣邦，岸本浩次，笹井伸哉，土田秀，服部学
廣井禎之，藤田勝，町田知久，松本慎二，丸川活司

【監事】石井保吉，鳥居良貴

欠席者：及川洋恵，小山芳徳，丸田淳子，三浦弘守，姫路由香里

会の成立：役員45名中40名出席，委任状提出5名で会が成立した。

議長：伊藤会長が平田総務委員長を指名。

議事録作成：棚田諭，笹井伸哉，町田知久

議事録署名人：伊藤仁，鳥居良貴

I. 開会

II. 会長挨拶

現在開催中の第61回日本臨床細胞学会春期大会は初めてのWeb開催となり，2020年6月20日(土)～7月19日(日)まで配信される。本役員会も，新型コロナウイルスの感染拡大の影響により，初のWeb役員会となった。

日本臨床細胞学会の主な行事について，2019年2月29日，3月1日に愛知県の藤田医科大学で開催予定であった第79回細胞検査士ワークショップが藤田学園からの中止要請により，前日に中止が決定した。受講予定だった細胞検査士を対象に，講義予定だった内容をWeb受講，単位取得できるよう対応した。また，2020年度の細胞検査士関連の行事として，7月に細胞検査士養成講習会(2週間コース)中止，7月に秋田市で開催予定の第80回細胞検査士ワークショップ中止，教育セミナーは東西ともにWeb開催となる。第53回細胞検査士資格認定試験は，行う予定で進めているが，最終的な決定は6月30日までにHP上に掲載される。今年度の試験は様々な制限がかかるので，実地方法について検討中である。しかし，緊急事態宣言など社会的状況によっては急遽，中止や延期になることは避けられない。細胞学会からの一斉メールやHPの情報を常に注視するようお願いする。

今年度は，2021年度～22年度の役員選挙の年で，また，日本臨床細胞学会理事改選の年で

ある。現在、伊藤、小松副会長、石井監事の3名が選挙で当選して、理事を務めているが、小松副会長、石井監事は、年齢的に次の理事選挙には立候補できない。人脈的に細胞学会へ多大な影響力を持っている二人が抜けるのは非常に大きく、我々は極めて重大な難しい局面を迎えることになる。再三述べているが、この現実をよくよく考え、正会員を増やす、評議員を増やすための取り組みに協力をお願いします。

Ⅲ. 議事録確認

2019年度第2回細胞検査士会役員会議事録を確認した。

Ⅳ. 報告事項

議案書Ⅳ. 報告事項の内容で報告がされた。

Ⅴ. 議案

第1号議案：細胞検査士会2019年度事業報告及びこれに伴う収支決算書 承認可決

第2号議案：委員会に関する細則の変更 承認可決

第3号議案：議事録作成要綱の変更 承認可決

第4号議案：2021-2022年度役員選挙実施要綱（一部修正して）承認可決

Ⅵ. 確認・検討事項

1. 日本臨床細胞学会における細胞検査士正会員を増やす方策について（あり方委員会）

正会員になるプロセスを細胞検査士会報に掲載する。

引き続き役員から意見を募り、あり方委員会で検討する。

2. LOVE49事業について（渉外委員会）

1) 新型コロナウイルス感染拡大の影響について

子宮の日の活動は、多くの都道府県が4月に実施する予定だったので、それらはすべて中止あるいは延期となっている。延期としている都道府県でも、今後の予定を決められないのが現状である。ただし、長野県については、当初から9月に行事を実施する予定であったので、今後の状況によっては開催できる可能性がある。

2) 今後の活動内容について

今年度の配布予定であるニュースレターやサンプル品（昨年と同様の生理用品）は、6万部がすでに各都道府県に配送されている。各都道府県のLOVE49担当者には、街頭活動ができない状況なので、女性が多く集まる大学、専門学校、高校あるいは美容室などの施設を対象として、資料の配布をお願いしている。役員の皆様も可能な限り、各都道府県の担当者に協力していただきたい。

3. 新型コロナウイルス関連

検体の取り扱いについて、CAPや日本病理学会 からHPに掲示されている。

VII. その他

1. 第61回日本臨床細胞学会総会春期大会（Web開催）について

参加登録及び協力の御礼と進捗報告

2. 第79回・第80回細胞検査士教育セミナー（Web開催）について

第79回日程：2020年8月22日（土）～9月5日（土）

第80回日程：2020年9月5日（土）～9月19日（土）

詳細は学会HPを参照 <http://jscc.or.jp/news/cat05/2020seminar/>

3. 細胞検査士会総会について

第59回日本臨床細胞学会秋期大会の会期中に開催を予定している。

4. 厚労省が職業情報提供サイト（日本版O-NET）を作製し、公開された。

「細胞検査士」も掲載されている。

<https://shigoto.mhlw.go.jp/User/Occupation/Detail/162>

5. 細胞検査士会として、新型コロナウイルスによる細胞診業務への影響について把握する必要があるため、がん検診委員会が「新型コロナウイルスによる業務への影響についての緊急実態調査」をアンケート形式で実施した（日本臨床細胞学会細胞検査士委員会と合同）。

6. 2020年日本臨床細胞学会秋期大会の準備状況について、会場となるパシフィコ横浜ノースは、本年4月に無事開業した。現在のパシフィコ横浜・展示ホールに隣接し、国内最大規模の多目的ホールと会議室よりなり、示説会場・展示会場も含めすべてのプログラムが同一施設内で行うことが可能であり、日本臨床細胞学会が開催されるのは今回が初めてとなる。本学会のプログラムはすでにほぼ完成し、5月20日から演題募集も開始しており、多くの皆様に演題登録をお願いする。本秋期大会開催においても、新型コロナウイルスの感染拡大の影響を考え、Web学会、ハイブリッド形式の学会、ソーシャルディスタンス確保のためスペースを拡大した会場での開催など、様々な可能性について検討中である。参加する方々の安全を第一に、社会状況に応じた最も適切な方法で開催する予定であるが、細胞検査士が初めて会長として主催する全国学会でもあり、なんとかパシフィコ横浜ノースで開催し、たくさんの皆様方とお会いできることを心より祈念している。

VIII. 閉会

以上

第3号議案：議事録作成要綱の変更について意見・質問

「質疑応答などにおける発言者の氏名，発言内容は議事録とは別に記録することができる」と記載されているが，どのようなイメージなのか？

承認・否認の議決と質疑応答内容が一緒にあると決定事項が分かりづらいので，分けて記録する。

会員が議決に至るまでの過程や継続審議になった理由が分かるようにして欲しい。

庶務委員会で役員会の音声データを記録・保管しているので，今後，細胞検査士会HPに掲示するなど方法を検討する。

第4号議案：2021-2022 年度役員選挙実施要綱について意見・質問

各都道府県細胞検査士会の選挙人人数決定シミュレーションについて，正会員を増やす方策の一つと理解しているが，会員数が少ない都道府県，例えば鳥取県では，正会員の割合が東京都より高くても，選挙人は削減されている。もう少し，地方のことも考えていただきたい。

前回の257名から今回は250名の選挙人人数でシミュレーションしている。比例配分で選挙人人数を決定することを決めて，細かい事は選挙管理委員会が決定する。

シミュレーションは2020年5月26日時点のデータであるが，8月に選挙管理委員会が発足するので，細胞学会から2020年8月1日時点のデータを再度取得する。